

## 雨水排水工前後の処分場の状況について

## 1 概要

第40回評価委員会において、「場内の雨水排水工前後でデータがどのように変化したか」との発言があったことから、過去のモニタリングデータの確認を行ったもの。

## 2 雨水排水工・覆土整形工について

平成19年度から平成20年度にかけて、処分場全体に雨水排水工及び覆土整形工を行った。平成19年10月の第2回評価委員会にて工事内容が提示され、平成21年3月までに工事が完了した。

そのほか、平成17年度に悪臭発生抑制のため、緊急対策として遮水シート及びガス処理施設の設置によりガス放散対策を行った。

工事名	目的	実施内容
雨水排水工	○廃棄物層への雨水浸透を抑制、埋立地内の保有水の推移を安定させ、水位上昇に伴うガスの発生防止や浸出水の拡散防止を行う	場内及び周縁の排水路整備
覆土整形工	○処分場内の廃棄物層と覆土層との境界面に滞留している高濃度の硫化水素等の大気への放散や悪臭を防止する	場内約70,000m <sup>2</sup> の整形 (多機能性覆土約6,000m <sup>2</sup> を含む)

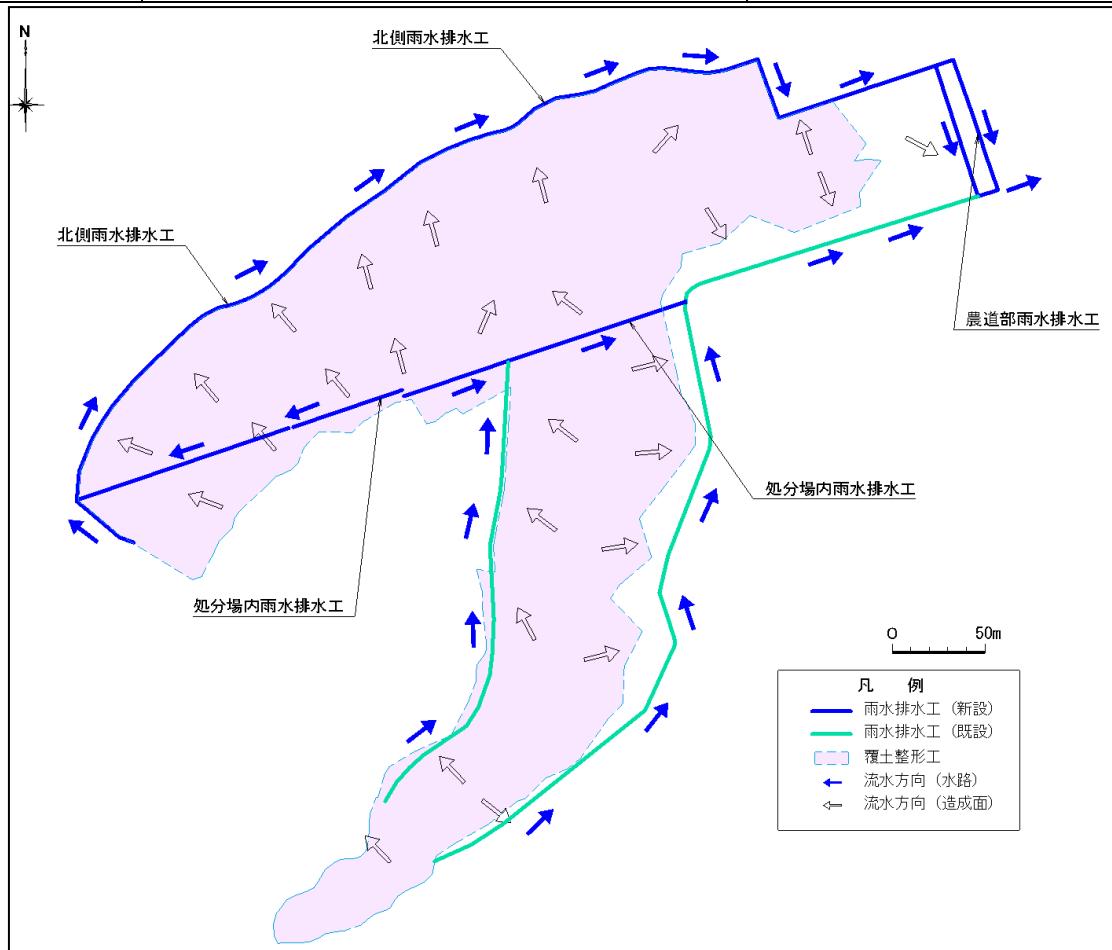


図1：雨水排水工完了後の雨水の流水方向



図 2：雨水排水工前後の比較

### 3 施工前後の調査地点について

雨水排水工の施工以前から現在まで継続して調査を行っている地点は以下のとおり。調査結果については次ページ以降に掲載した。

- 浸透水水質調査：No.3、No.5、H16-3、H16-5、H16-6、H16-10、H16-11、H16-13、H17-15
- 地下水水質調査：Loc.1a、Loc.1b、Loc.3
- 発生ガス調査：7-2、7-4、H16-10、H16-11
- 硫化水素連続調査：処分場敷地境界、村田第二中学校

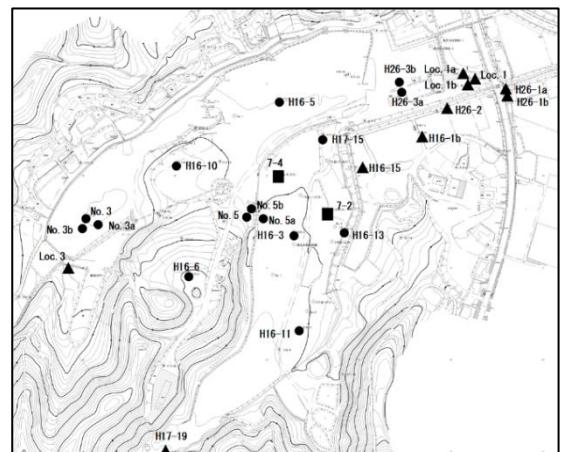


図 3：観測井戸地点図

### 4 施工前後の調査結果について

硫化水素連続調査については、当該工事施工後に基準値超過が見られなくなった。水質調査については、低下傾向で推移している項目（ほう素、ふつ素）はあるが、数値が上下している項目も見られた。発生ガス調査については、当該工事後に発生ガス量が低下した井戸が見られた。

硫化水素連続調査及び発生ガス調査は、当該工事によりガスの放散が抑制された結果、硫化水素や発生ガス量が低下したと考えられる。一方で、水質調査の結果について一定の傾向は見られなかった。当該工事は浸出水の拡散防止が目的であるため、水質への影響は少なかったものと考えられる。

○硫化水素連続調査

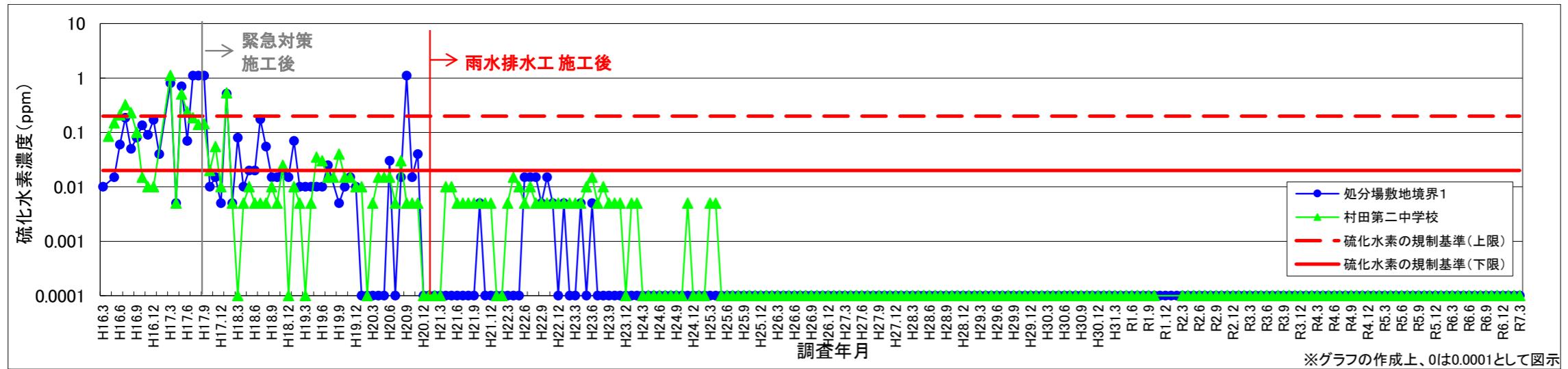


図 4 : 硫化水素連続調査

○浸透水水質調査・地下水水質調査

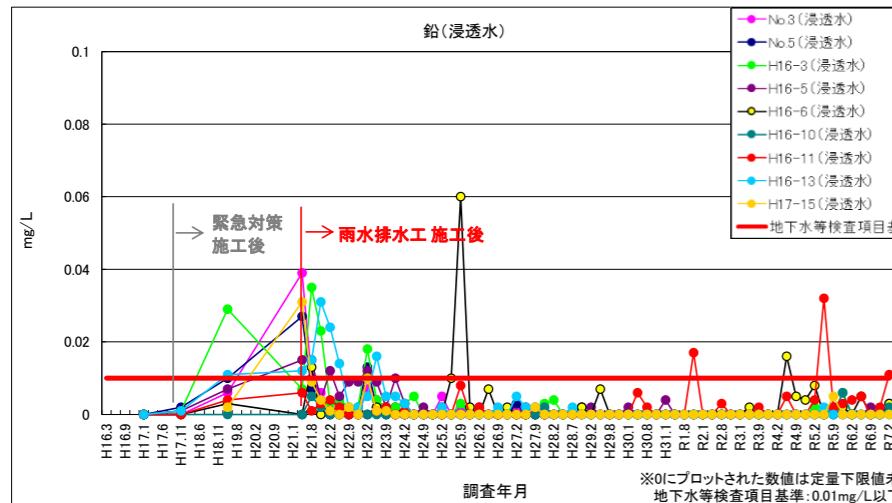


図 5-1 : 鉛 (浸透水)

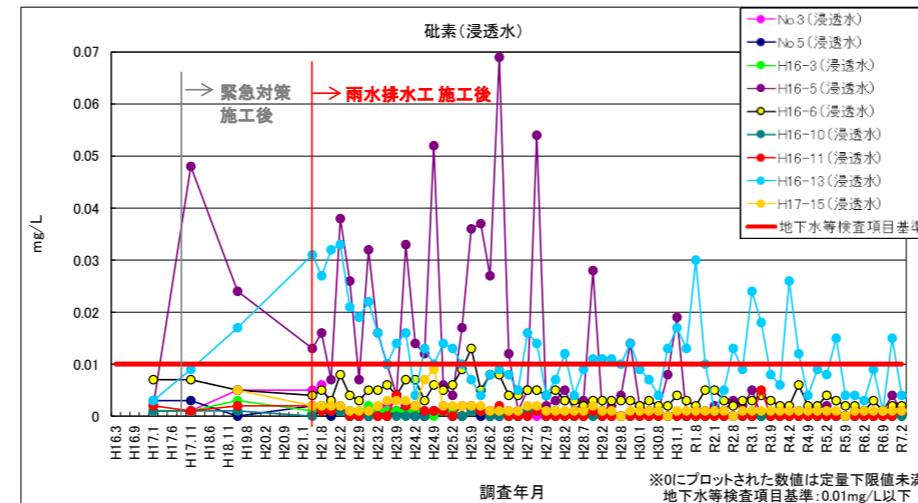


図 5-2 : 硒素 (浸透水)

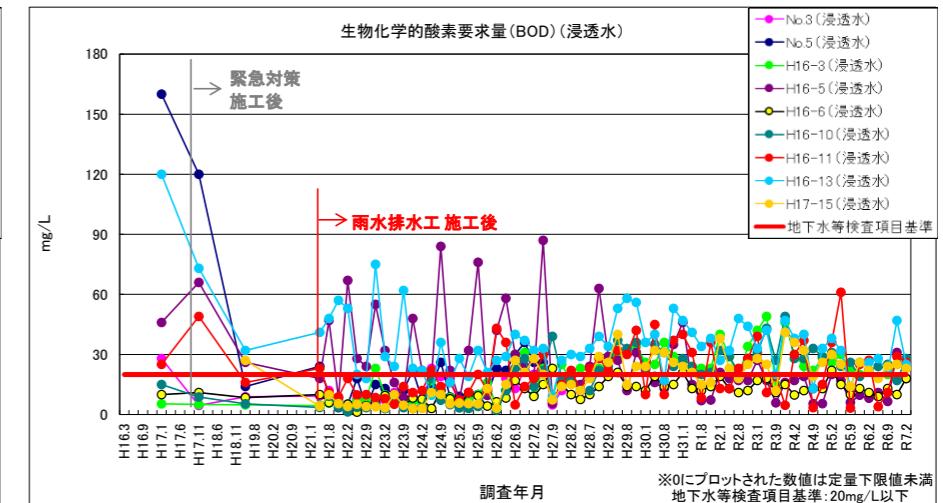


図 5-3 : BOD (浸透水)

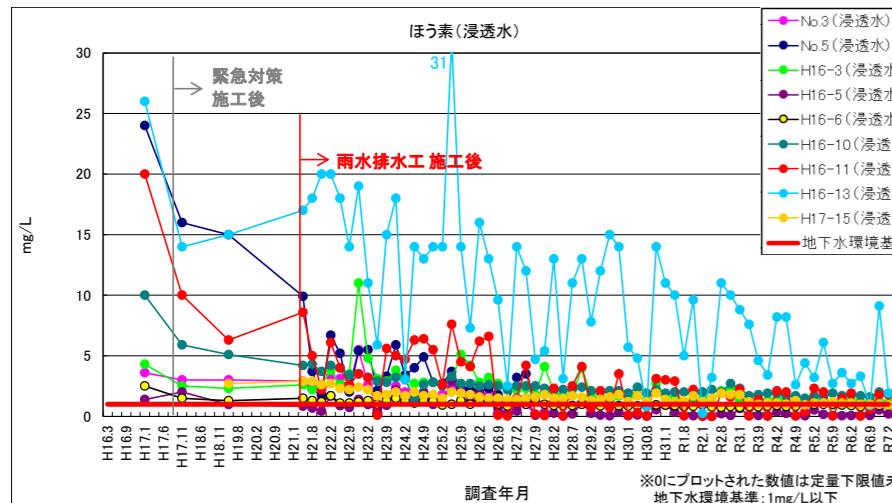


図 5-4 : ほう素 (浸透水)

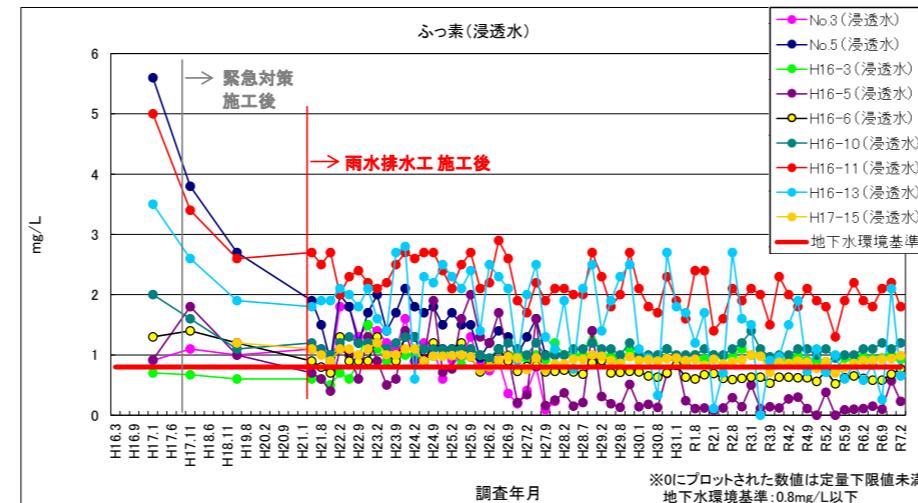


図 5-5 : ふつ素 (浸透水)

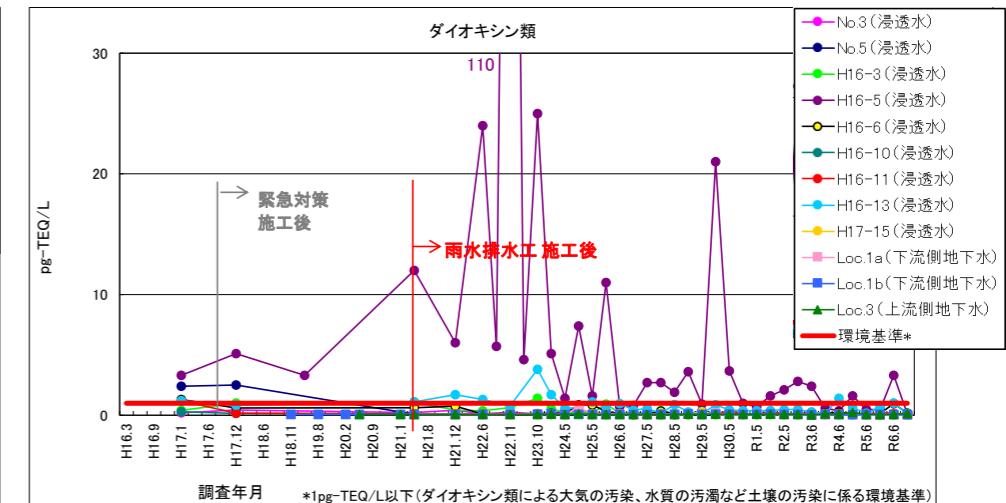


図 5-6 : ダイオキシン類 (浸透水・地下水)

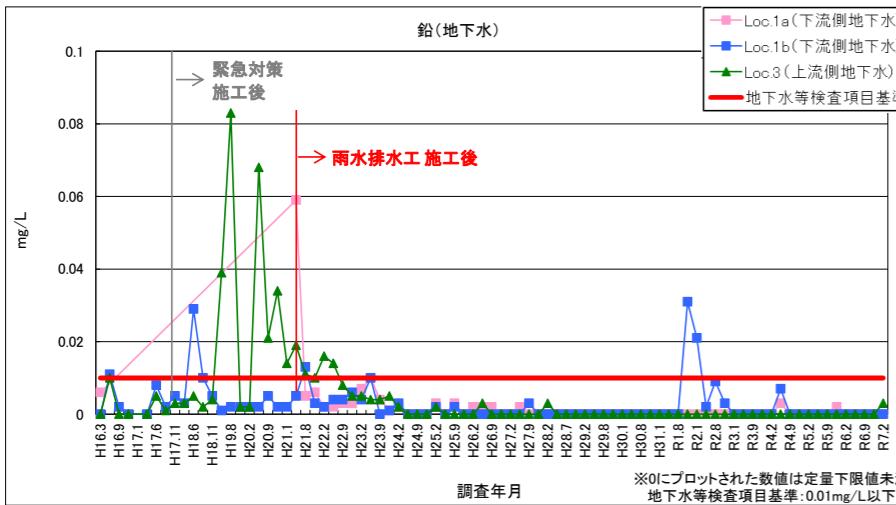


図 5-7：鉛（地下水）

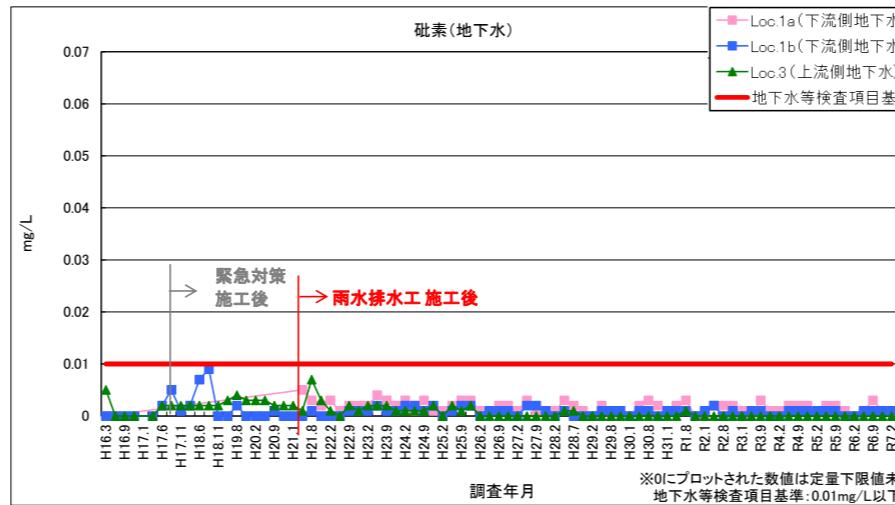


図 5-8：砒素（地下水）

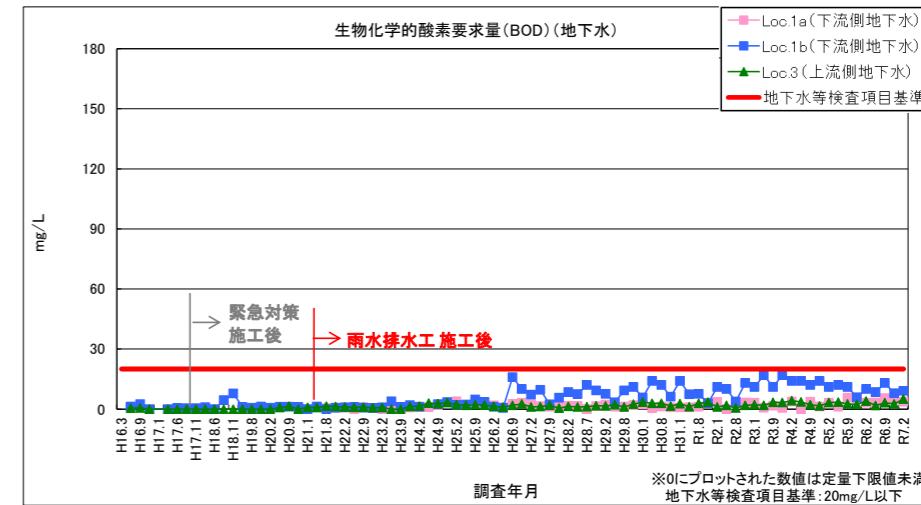


図 5-9：BOD（地下水）

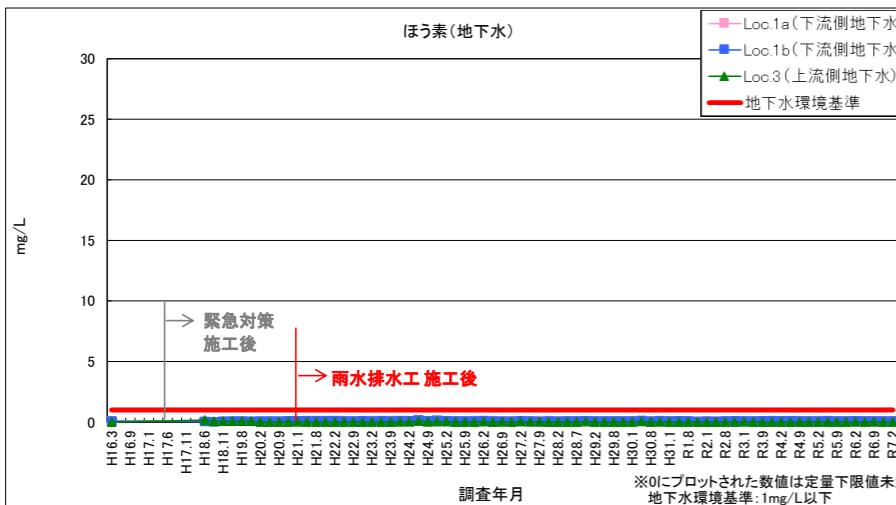


図 5-10：ほう素（地下水）

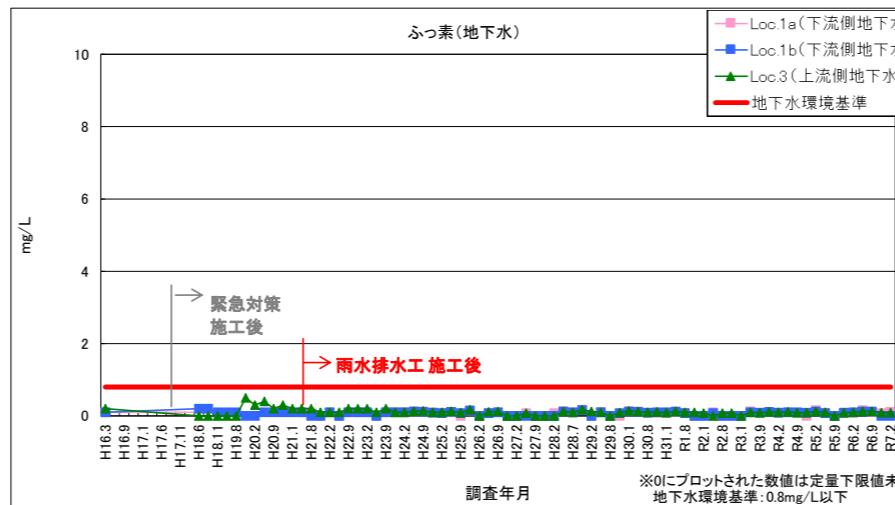


図 5-11：ふつ素（地下水）

### ○発生ガス調査

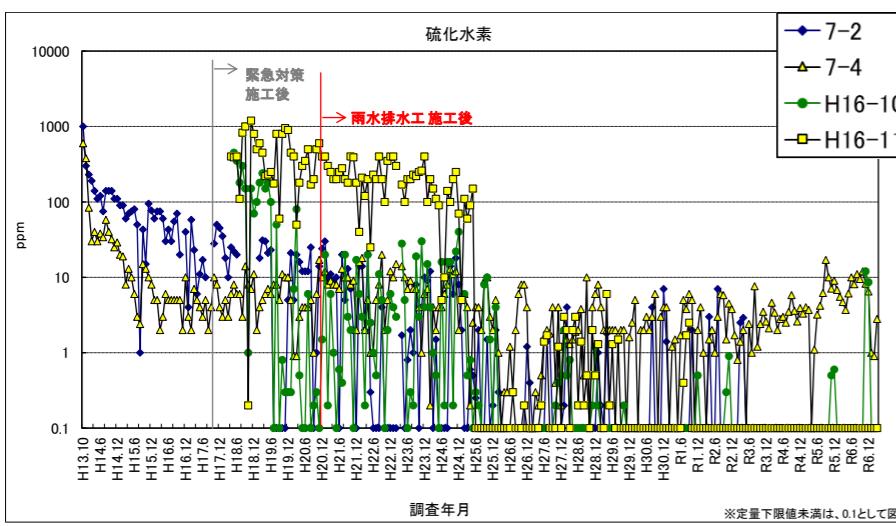


図 6-1：硫化水素

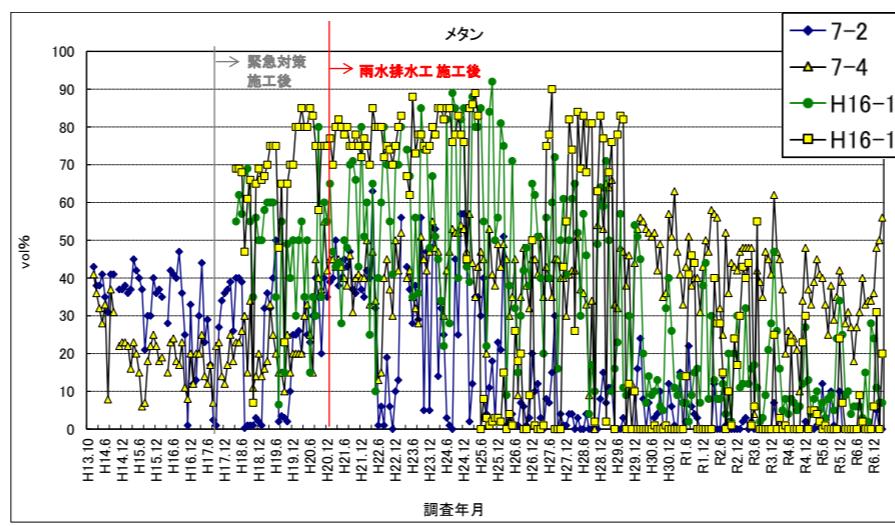


図 6-2：メタン

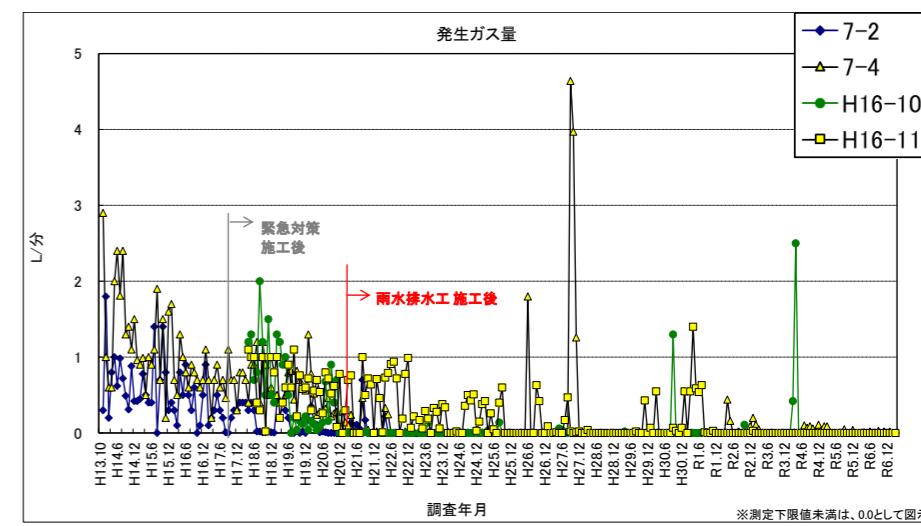


図 6-3：発生ガス量